



輝け 未来へ 中番校

No one will be left behind



2 学期スタート！校舎に響く、子供達の元気な声。

—Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続)—

8 月 27 日、朝。学校に子供達が戻ってきました。夏休み後半は天候不良が続き、雨の日が続いていました。でも、子供達が登校する日に合わせるように厳しい陽射しが戻ってきました。登校してくる子供達は汗を掻いての登校になりました。久しぶりの登校、どんな思いで登校してきたのでしょうか。「学校を楽しみにしてきてくれたかなあ。」なんて思いながら校門で挨拶を交わしながら子供達を迎えました。

さて、感染症対策及びタブレット端末の利用を考慮し、2 学期始業式をリモートで行いました。カメラに向かって子供達に話をしました。不思議な感じでした。このカメラの向こうのタブレット端末の前に子供達がいるのです。自分の声がどのような大きさで、どのような声色で伝わっているのでしょうか。自分の姿はこちらのタブレット端末でも確認できるのですが、この映像を子供達はどのように見ているのだろう、この話をどんな思いで、どんな感じで聴いているのだろう、色々と考えました。次のような話をしました。

いよいよ 2 学期が始まりました。夏休みを終え、今日、登校してくる皆さんを見て「大きくなったなあ。」、大変嬉しく思いました。まだまだ暑い日が続きます。暑さに負けずにしっかりと頑張りましょう。先程、学級の代表の皆さんの 2 学期の目標を聞かせてもらいました。しっかりとした目標をもっています。大変、楽しみです。校長先生からは、2 学期の皆さんの目標を伝えたいと思います。それは、「一人一人、輝け！」ということです。東京 2020 オリンピックでも多くの選手が輝いていました。小野市の田中希実選手も日本新記録を打ち立てオリンピック陸上 1500m で 8 位入賞という素晴らしい成績を収められました。どこか遠くの人ではなく、皆さんと同じ小野市で生まれ育った皆さんの先輩です。小野市の誇りだと思います。さて、こ

の「輝」という漢字は、どんな字からできていますか。そう、「光」と「軍」からできています。「光」といっても様々な光があります。田中選手には「走る」という光、みなさんでは「二十跳びができる」「発表ができる」「テストでいい点がとれる」等の技能・技術・学力の面、「優しさ」「思いやりがある」「真面目」「親切」「笑顔」「こつこつ努力する」「諦めない心」といったその人の内面にあるもの等、様々な光があります。これらの光をまとめて言うと一人一人の「個性」ということです。「正に『光』は誰にでもある。」ということです。もう一つの「軍」には、「人が集まる」という意味があります。つまり、「輝く」とは、一つ一つの光が集まって、束になって、何倍にもなって、互いに影響し合って、響き合って、より明るく、より強く、光り「輝く」という意味です。では、一人一人が「輝く」ために、皆さんは、どうすればいいのでしょうか。それは、「本気になること」です。自分のありったけの力を出していくことです。2 学期は、皆さんのこの「本気」を試す機会がいっぱいあります。オープンスクール（参観日）、自然学校、修学旅行、中番フェスティバル等、さらに行事・活動だけではありません。「〇〇の秋」と言われるように、秋は実りと成長の季節です。日々の学習・生活、その成果を試す機会がたくさんあります。その時、自分ができること、しなければならないことから逃げず、あらん限りの力を出し、まっすぐに前のみを見つめて進んで欲しいと思います。校長先生の好きな詩、「本気」（相田みつを）を紹介したいと思います。（詩を見せ、読みました。）みなさんの「本気」を楽しみにしています。この 2 学期、中番小学校の全員が、必ず新しい自分に出会いましょう。「やりきった。力を出し切った。」と、爽やかに自信を持って言える 2 学期にしましょう。皆さんの劇的な変化に期待しています。

9 月 12 日までの緊急事態宣言、ワクチン接種もどんどん進みその実施率が高くなっていることが報道されています。これらの効果が高まり、一日も早いコロナウイルス感染症感染拡大に歯止めがかかることを願っています。中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と共に歩んでいきます。